

秋の夜長に…

急に日暮れが早くなり、少しずつ秋が深まってきました。

秋の夜長に読書もいいですが、御家族で今流行りのボードゲームを楽しんでみるのはいかがでしょうか。本校の石手教室で使っている、簡単で面白くてためになるボードゲームを御紹介します。

まず、1つ目は「ラビリンス」です。

このゲームは、今後の展開を読み考える力（**先の見通しを立てる力と思考力**）が必要となります。また、他のプレイヤーの思惑で、自分の状況がどんどん変化するためどんな状況でも新たなルートを探す**臨機応変に対応する力**も必要となります。



2つ目は「ナインタイル」です。

1枚1枚タイルをめくっていくことで、手先のトレーニングや座位姿勢の向上が期待できます。また、お題カードと同じ絵柄・配置で並べていくため、**判断力と記憶力も向上し脳の活性化**に繋がります。



3つ目は「立体四目」です。

将棋やオセロと決定的に違う点は、3次元の立体ゲームであることです。外側の縦や横・斜めだけでなく奥に向かって斜めに揃う場合も勝ちとなります。**空間認知力**や目に見えない内側の部分がどのような配列になっているかを**認識・想像する力**を育てます。



机上で勉強するのに疲れたらボードゲームなどで楽しみながら学び、学力の基礎となる力を身に付けてみてください。